



『QCサークル』誌 2025年6月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

p.2～

東海交通機械㈱ 代表取締役社長 上野 雅之さん

現場の改善意欲は会社にとって非常に大きな力になっていると思います。会社を発展させるためには、そうした現場の発想力や改善意欲を経営陣がしっかり吸い上げていかねばなりません。現場の改善意欲を高めるためにはインセンティブも必要でそのための予算は惜しまないようにしています。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.5～

コマツ NTC㈱

コマツ NTC㈱は、自動車産業、半導体製造、電池産業を中心としながら、国内外の幅広い業界に向けて生産設備を提供している総合機械メーカーです。同社の QC サークル活動では近年、QC の知識や経験が少ない初心者で結成された QC サークルが急成長を遂げ、全社大会で金賞連覇、さらに 2023 年の QC サークル本部主催事務・販売・サービス（含む医療・福祉）部門全日本 QC サークル大会で最優秀賞を受賞。メンバーのみなさんに苦労話を含め活動の進め方や成果についてお聞きました。

★特集：非製造系サークルの改善テーマは少ないって本当？

p.9～（サークル、事務、販売・サービス、医療、改善）

非製造系業種や部門でサークル活動を行う時、まず苦慮するのが「テーマ選定」で、ものづくりとは異なる難しさがあり、サークルの実情に合わせた工夫・アイデアを活かして改善活動を進めるためのテーマを選定する必要があります。今回の特集では、2024 年の「第 1 回事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門 QC サークルグランドチャンピオン大会（小集団改善活動）」で発表されたサークルの事例から改善テーマ選定の背景やとらえどころを紹介しています。みなさんの活動の参考にして成果につなげていただければありがたいです。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例 2 件を紹介します。

体験事例：p.24～

1.（サークル、製造、改善）

ユキワ精工㈱ 「メカニカル工機サークル」

「ドリルチェック内径工程のチョコ停のチョコ停削減」

2.（サークル、製造、改善）

㈱岩手村田製作所 久慈工場 「AMBER（アンバー）サークル」

「B 品種の A1 不良の削減」

★推進者のページ：こんな推進者になりたい ～役割とその責任を理解し実践する～

p.34（管理者／事務局、運営／推進）

第 6 回 事務局だって、たまには言わせてよ（覆面座談会）

本ページでは、今まで一括りにして解説することが多かった「推進者」を、「トップ」、「管理者」、「推進事務局」に分けて、その役割と責任について考えていきます。本号では、普段あまり聞くことのない、推進事務局の本音を覆面座談会で語っていただきました。推進のしかけや工夫などを含め、たいへん有益な情報が寄せられています。

★サークル Q & A ただいま出動 QC サークル 119 番～あなたの困りごとに寄り添います～

p.42～

カルテ 191

今回は、チョコ停や慢性的な故障などに苦労していて、不具合の予兆を察知するよい方法はないかというお悩みです。6 コママンガとともに編集委員がアドバイスします。

★運営のページ QC サークル活動運営の基本を学ぶ ー運営の工夫で楽しく活動してみませんかー

P.44 (サークル、運営／推進)

第6回 一人ひとりの能力を伸ばす工夫

本ページは、『QC サークル活動運営の基本』QC サークル本部編に書かれているような基本的な事項を一つひとつ取り上げて解説します。活動を始めたばかりのサークル、活動経験はあるものの疑問や不安を感じているサークルなどに、運営について体系的に学んでもらうことがねらいです。今月は、QC サークルメンバー一人ひとりの能力を伸ばすために、どのような工夫ができるかについて紹介します。

★サークルギネス

P. 46

認定記録 第182号 地区事務局3回、地区幹事歴11年(支援者ギネス第8号)

(株)小松製作所 氷見工場 旅 美恵子さん

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.48 (事務)

日本ゼオン(株) 水島工場 「ひとことサークル」

サークルに改善の背景や内容を、推進者にはサークルの育成方法について紹介いただくページです。今月は、初心者で構成された総務人事課員のサークルが、ベテランから手法や進め方を学びながら意欲的に活動を進め、目標達成という有形効果のみならず、メンバーの能力向上にも成果を上げた事例を紹介します。

★QC検定道場

P.50～ (サークル、一般者(標準))

第6回 品質保証(新製品開発、プロセス保証)

今月号は、品質管理の実践の中の品質保証(新製品開発、プロセス保証)について、過去に出題された問題をJSQC規格をあげて解説していきます。いずれも検定受検には重要な内容ですので、しっかり知識を身につけていきましょう。

★連載講座: データのとり方・使い方・まとめ方

p.56 (サークル、一般者(標準))

第6回 時系列の推移を可視化する: 折れ線グラフや管理図の使い方

工程が安定しているかを把握するためには、解析用管理図を使用する必要があります。また、工程が安定状態を維持しているかどうかを把握する場合は、管理用管理図を使用します。管理図は統計的工程管理の基本ツールです。6月号では、折れ線グラフや管理図の使い方を解説し、本連載講座「データのとり方・使い方・まとめ方」の総括を加えています。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページ http://www.juse.or.jp/qc_circle/をご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail : editoqcc@juse.or.jp

